

20079

院外ラボ研修を通しての CE の成長

【背景】2015 年 5 月、当院で新たに心臓血管センター内科が発足され、それに伴い CE がセカンド業務に参入することになった。CE を含めた心カテチーム全体のスキルアップを行う為、院外ラボ研修を行った。

今回、院外ラボ研修を通して得られた知識や手技が現状の CE のセカンド、外回り業務にどのような影響を与えているか報告する。

【方法】院外ラボ研修では主に PCPS のプライミングから操作方法、デバイスの使用方法、アンギオシミュレータによる急変、偶発症対応を学んだ。

【現状】2015 年 6 月末現在、院外ラボ研修を通して心カテ中の急変、偶発症の対応方法を医師と共に学んだため、セカンド業務ではオペレータが今何をしたいのかが理解しやすくなり、急変時であってもオペレータと共通の意識を持つことができた。また外回り業務では以前までは注意が向かなかった急変時に使用する薬剤、またはデバイスについても学習することができたので現在では看護師と共に薬剤の準備やデバイス等の物出しを行えるようになってきている。

【結語】院外ラボ研修を通して得られた知識、手技により急変時対応を以前より円滑に対応出来るようになった。また CE としてだけではなく心カテチームとしてどう動くべきか研修を通して確認することが出来たため、職種にとらわれることなくチームとして互いをフォローし合える環境作りに貢献することができた。

今後も日本一の心カテチームの一員となれるよう日々努力していきたい。